

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【道徳授業「明日、みんなで着よう」】</p>	<p>2 学年の道徳の授業で、いじめを許さない態度を育むことをねらいとし、「明日、みんなで着よう」（光村図書）を題材として扱った。 教材で紹介されている活動に揃えて、Tシャツの形に切り取ったメッセージシートに、いじめをしたり、傍観したりしないために必要だと思うことを書いて意見交換した。全員分のシートをまとめて掲示物を作成し教室に掲示するなど、人権意識を高く保てるような働きかけを行った。</p> <p>成果 いじめは絶対に許さないという意識を学級内、さらに学年内で再確認しながら、共有することができた。また、心情を理解しやすいように資料提示を工夫することで、生徒が登場人物の思いに共感し、自分のこととして振り返ることができた。</p> <p>課題 他の学年でも道徳の授業でいじめについては扱っているので、学校として一貫性のある言葉かけを行ったり、他学年の掲示物にも目を通しやすくなるよう、廊下等に掲示したりするなど、工夫していきたい。</p>
<p>2 実践2 【いのちの教室】</p>	<p>昨年に引き続き、3年生を対象に、「いのちの教室」をオンラインで開催した。また、今年度は2年生を対象として、産婦人科医師による、いのちの尊さに焦点を当てた動画を活用した授業を実施した。どちらも、性に関する内容の中に、人の命の大切さについて考えを深める場面を設定することができた。</p> <p>成果 単学年だけの実施ではなく複数の学年で扱うことで、次年度につながる取組をすることができた。2年生は、いのちの大切さについての感想を書いて講師の先生に郵送した。扱われた題材を自分事としてとらえさせ、自分や家族を大切にしようとする意識をもつことの大切さを伝えることができた。</p> <p>課題 オンラインや動画視聴の形での実施だったので、今後、感染状況を見ながら、これまで以上にインタラクティブな講座になるよう計画を進めていきたい。</p>